



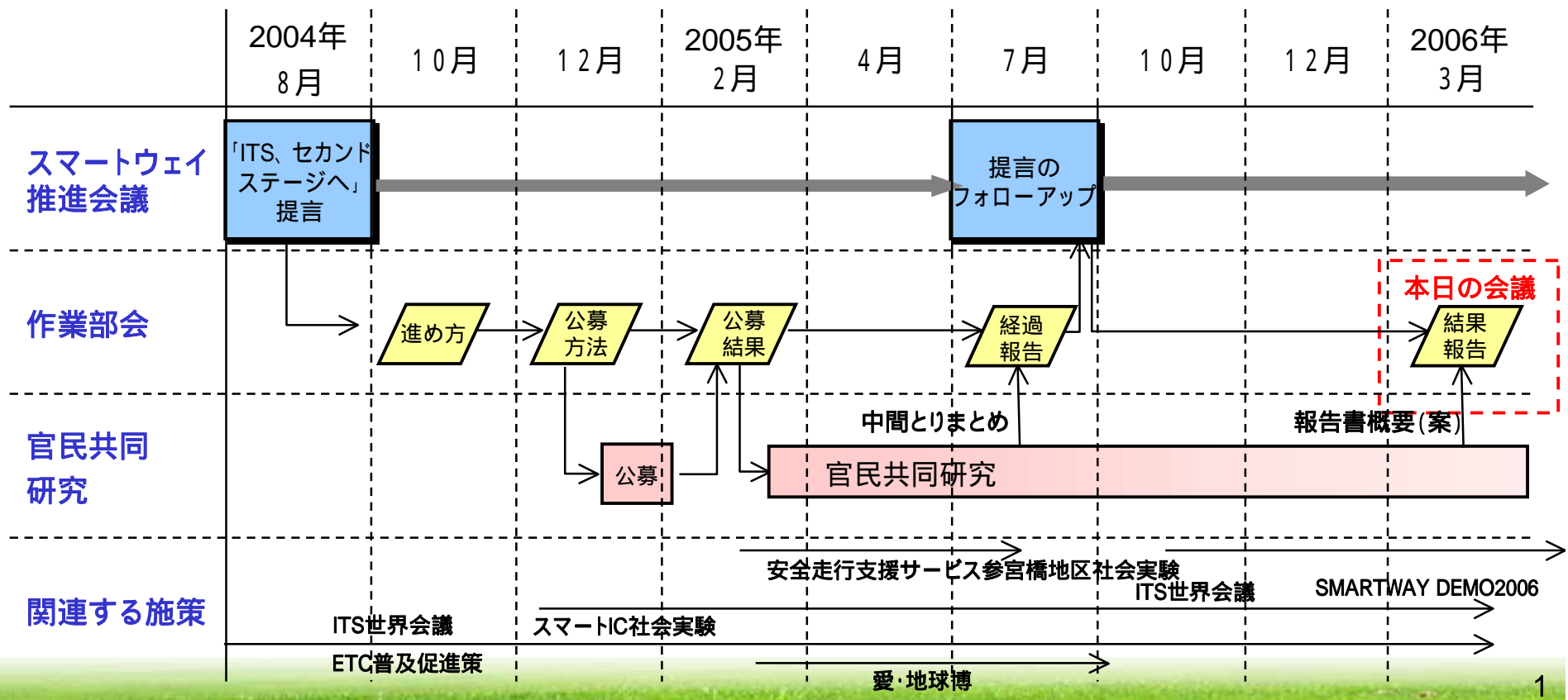
これまでの経緯

2006年3月

スマートウェイの進捗状況



- ・「ITS、セカンドステージへ」提言(2004.8)を受け、スマートウェイ推進会議の下部に作業部会を設置し、官民共同研究等の具体的検討を実施
- ・2005年7月、これまでの成果の評価と今後の推進に向けたフォローアップを実施
- ・フォローアップの結果をふまえて、官民共同研究を引き続き推進し、2006年2月、「SMARTWAY DEMO 2006」を実施。検証を行ったうえで共同研究報告書概要(案)を得た



今後の展開に向けて

- ・ スマートなモビリティ社会実現に向け、以下を積極的に推進すべき
 - 2007年を目指したITSサービス実現に向けて着実に推進
 - プラットフォームの活用により、安全走行支援や民間サービス等の多様なサービスを展開
 - ITS各分野を推進するため、データ基盤などさらなる環境整備

1) 2007年を目指したITSサービス

- 道路上における情報提供サービス
- 道の駅等情報接続サービス
- 公共駐車場決済サービス

2) 新たなサービスの展開

- ・安全・安心(走行支援システム(AHS))
- ・豊かさ・環境(物流システム高度化)
- ・快適・利便(民間サービス)

3) さらなる環境整備の推進

- ・プローブや路側インフラからのデータ収集・蓄積・流通基盤
- ・デジタル道路地図基盤

フォローアップの内容

新たな路車協調システムへの展開

- ・ 多様なメディアとの連携のもと、人と道路と車のネットワークの高度化により、様々な路車協調サービスを展開し、スマートなモビリティ社会を実現

